

常設展「ようこそオーサカ、ようこそニッポンーなにわ名所と物産図会ー」開催

～大坂を描く浮世絵と明治時代の名産品生産を伝える浮世絵で万博開催地を楽しもう～

和泉市久保惣記念美術館(大阪府和泉市内田町三丁目 6 番 12 号)では、大阪・関西万博の開催を記念して、6 月 22 日(日)から「ようこそオーサカ、ようこそニッポンーなにわ名所と物産図会ー」と題した展覧会、7 月5日(土)には講演会「フランスに渡った大坂の名所絵—19 世紀の万博とジャポニスムの流行—」を開催する。

和泉市久保惣記念美術館では、大阪・関西万博の開催に合わせて「'25 UKIYO EXPO in IZUMI」と題して浮世絵を中心した展覧会を開催するなど、認知度アップに取り組んでいる。

今回の展覧会(常設展)では、大坂に暮らす人々の滑稽な様子とともに風景を楽しむ「滑稽浪花五拾景」や、歌川広重に学んだ絵師たちが大坂の名所を描く「浪花百景」などを展示する。大坂の名所を描く作品に加え明治時代の名産品の製作、収穫の様子を描いた「大日本物産図会」や、1867 年に開催された第2回パリ万博に出陳された「和泉名所図会」なども展示し、世界の文化が集う万博の開催地となったオーサカと、ニッポンの近代化への発展を感じることができる。

展覧会関連イベントとして、7月5日(土)にはクリストフ・マルケ氏(フランス国立極東学院教授・京都支部代表)を迎えて講演会を開催する。講演会では、日本が参加した第2回パリ万博に展示された浮世絵と、世界に衝撃を与えジャポニスムの流行の中心となった浮世絵について、同氏が独自の視点から分析する。

■常設展「ようこそオーサカ、ようこそニッポンーなにわ名所と物産図会ー」

会 期 6 月 22 日(日)～8 月 17 日(日)

時 間 午前 10 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日が休館)

入館料 一般 500 円、高校・大学生 300 円、中学生以下無料

割 引 20 名様以上、65 歳以上(証明になるものを提示)、
提携団体の会員証(会員含め 5 人まで)はいずれも 2 割引。
各種障がい者手帳等提示の本人と介助者 1 人は無料。

「浪花百景 天保山」六花園芳雪



■講演会「フランスに渡った大坂の名所絵—19 世紀の万博とジャポニスムの流行—」

開催日時 7 月 5 日(土) 午後 2 時から 3 時 30 分

※受付開始は午後 1 時 30 分から

費 用 無料

※入館料のみ必要

定 員 120 名(先着順)

受 付 当日、美術館の入り口で「入館レシート」を提示し
整理券を受け取ってください

備 考 全席自由席

クリストフ・マルケ氏



■'25 UKIYO EXPO in IZUMI (ダイジェストバージョン)

<https://www.youtube.com/watch?v=-qnvUY6AeKg>